

自然環境 保全活動 助成金のご案内

募集期間 2019年1月15日(火)~2019年3月15日(金)
(当日消印有効)

この助成金は、道内における個人・市民活動団体・調査研究機関など、様々な立場の皆さんが実施する自然環境の保全とその適正な利用に関する活動に必要な経費を助成することにより、道内の自然環境に関する諸活動を積極的に推進していくことを目的としたものです。



調査・研究活動



保全活動



自然観察会等の開催



普及啓発用の報告書等の刊行

助成の対象となる活動の一例です!!

助成対象者 (個人・※団体を問いません)

道内で自然環境の保全とその適正な利用のための活動を自主的、継続的に取り組んでいるか、これから取り組もうとする者。

※NPOや公益法人、大学などの形態をとらない任意団体でも構いません。但し、当財団所定の事業報告や適正な会計報告ができること。

助成総額 500万円

決定方法

当財団の審査委員会にて書面審査の上、決定します。

助成の対象となる活動 (2020年3月末までに実施・完了する活動)

①自然環境の保全とその適正な利用に関する活動

例えば、森づくり(植樹、緑地の保全・復元等)・河川、湖沼等の浄化清掃。自然観察会、学習会、セミナー等の開催。野生動物の保護並びにその生息環境の保全に関する活動など。

②自然環境の保全とその適正な利用に関する調査研究

例えば、自然環境(山岳・森林・河川・湖沼・湿原等)に係る調査研究。野生動植物及びその生息環境に関する調査研究など。

③上記①②に基づいた普及啓発用の報告書または成果物の刊行

結果発表

申請者全員に対して2019年4月中旬頃に文書にて連絡します。

助成金額

一件につき100万円以下とします。

応募方法

財団所定の申請書類を提出してください。
尚、提出された申請書類・資料等は返却いたしません。



植樹活動



シンポジウム等の開催

(一財)前田一步園財団は、ひとりでも多くの方が自然の恵みを末永く享受できるよう、北海道の自然環境の保全とその適正な利用を進めるために設立された法人です。財団では、本事業のほか、阿寒湖周辺の広大な森林を育てる「森林保全事業」や北海道の自然環境の保全に関する様々な自然普及事業(人材育成・顕彰・普及啓発等)に取り組んでいます。

■資料請求

(一財)前田一步園財団 自然環境保全活動助成金係(担当 山本)
〒085-0467

釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目5番2号

TEL 0154-67-2207

FAX 0154-67-2350

URL <http://www.ippon.or.jp>

(PDF・Wordファイルにて申請書類をダウンロードできます。)

E-mail k_yamamoto@ippon.or.jp

過去3年間の助成実績

(千円)

2016年度		
森田 文子	樽前自然観察園の整備	330
NPO法人 エゾシカネット	親子deエゾシカを知ろう in道民の森	250
雨竜沼湿原を愛する会	仮称ウツクサヶの再発見 サラサの仲間の植物調査	700
山の手学園 平和幼稚園	平和幼稚園 開園40周年記念 図鑑絵本作成事業	650
GISEネットワーク	自然環境保全理解のためのユウモリ調査及び教材開発	800
NPO法人 環境NGOピウ	「エゾシカまるわかりキット」を用いた普及啓発活動	410
合 計		3,140
2017年度		
佐藤 照雄	釧路のシミ フォット&ハンドブックの出版事業	700
羅臼のひかりごけ保存会	「マツカス洞窟のヒカリゴケ」リーフレット出版事業	146
大日向倫子	「春探湖物語」出版事業	330
NPO法人 霧多布湿原フヨウイラスト	地域とともに作る植物標本集—ハーバリウム・霧多布—	200
平野 幸彦	「トウラク温泉付近（北海道：十勝）の甲虫目」発行事業	285
合 計		1,661
2018年度		
北広島森の倶楽部ゴマツミ研究部	科学読み物「ゴマツミの不思議な暮らし」の制作	710
ユウモリウツクサの会	ユウモリウツクサの会30周年記念誌制作	800
NPO法人 常呂川自然学校	2018 北の学び・カリバ自然講座	612
北海道海鳥センター友の会	天売島におけるウズメの保全に関する活動	650
知床ウトロ海域環境保全協議会	知床ウトロ海域のケイマリの保全と普及啓発活動	900
合 計		3,672